

環境放射線測定局 非常用自家発電装置更新工事 (下北地域)

図面リスト						
建築工事			電気設備工事			
	表紙・図面リスト	2 2	【小田野沢局】案内図・配置図	1	改修工事特記仕様書（電気設備の部）	
1	改修特記仕様書（その1）	2 3	【小田野沢局】平面図（改修前・改修後）・詳細図	2	【尾紋局外6局】自家用発電装置 仕様書・姿図	
2	改修特記仕様書（その2）	2 4	【老部局】案内図・配置図	3	【関根局】自家用発電装置 仕様書・姿図	
3	改修特記仕様書（その3）	2 5	【老部局】平面図（改修前・改修後）・詳細図	4	【尾紋局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
4	改修特記仕様書（その4）	2 6	【近川局】案内図・配置図	5	【平沼局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
5	改修特記仕様書（その5）	2 7	【近川局】平面図（改修前・改修後）・詳細図	6	【泊局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
6	改修特記仕様書（その6）	2 8	【関根局】案内図・配置図	7	【吹越局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
7	改修特記仕様書（その7）	2 9	【関根局】平面図（改修前・改修後）	8	【小田野沢局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
8	改修特記仕様書（その8）			9	【老部局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
9	改修特記仕様書（その9）			1 0	【近川局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
1 0	改修特記仕様書（その1 0）			1 1	【関根局】自家用発電装置更新図（改修前・改修後）	
1 1	改修特記仕様書（その1 1）					
1 2	改修特記仕様書（その1 2）					
1 3	改修特記仕様書（その1 3）					
1 4	【尾紋局】案内図・配置図					
1 5	【尾紋局】平面図（改修前・改修後）・詳細図					
1 6	【平沼局】案内図・配置図					
1 7	【平沼局】平面図（改修前・改修後）・詳細図					
1 8	【泊局】案内図・配置図					
1 9	【泊局】平面図（改修前・改修後）・詳細図					
2 0	【吹越局】案内図・配置図					
2 1	【吹越局】平面図（改修前・改修後）・詳細図					

(株) 青建設計

環境放射線測定局 非常用自家発電装置更新工事（下北地域） 建築工事 特記仕様書		① 章 各章共通事項		② 章 仮設工事	
I 工事概要		③ 項 目		④ 項 目	
1. 工事場所 青森県下北郡東通村大字小田野沢地内 外		⑤ 項 目		⑥ 項 目	
2. 敷地面積 399.939㎡		⑦ 項 目		⑧ 項 目	
3. 工事種目 1. 外部改修工事（発電機基礎増設4局）		⑨ 項 目		⑩ 項 目	
4. 工事範囲 庁舎敷局・平治局・泊局・吹越局・小田野沢局・老部局 近川局・間根局		⑪ 項 目		⑫ 項 目	
II 建築改修工事仕様		⑬ 項 目		⑭ 項 目	
（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版【令和4年制定】」（以下「改修標準仕様書」という。）による。 図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版【令和4年制定】」（以下「標準仕様書」という。）による。		⑮ 項 目		⑯ 項 目	
（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。		⑰ 項 目		⑱ 項 目	
（3）本特記仕様書の表記 1）項目は、○印の付いたものを適用する。 2）特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3）特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4）特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5）G印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和2年2月7日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」）においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。		⑲ 項 目		⑳ 項 目	
・適用基準 1）図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部		⑳ 項 目		㉑ 項 目	
・足場等		㉒ 項 目		㉓ 項 目	
① 足場等		㉔ 項 目		㉕ 項 目	
② 仮設間仕切り		㉖ 項 目		㉗ 項 目	
③ 仮設間仕切り		㉘ 項 目		㉙ 項 目	
④ 仮設間仕切り		㉚ 項 目		㉛ 項 目	
⑤ 仮設間仕切り		㉜ 項 目		㉝ 項 目	
⑥ 仮設間仕切り		㉞ 項 目		㉟ 項 目	
⑦ 仮設間仕切り		㊱ 項 目		㊲ 項 目	
⑧ 仮設間仕切り		㊳ 項 目		㊴ 項 目	
⑨ 仮設間仕切り		㊵ 項 目		㊶ 項 目	
⑩ 仮設間仕切り		㊷ 項 目		㊸ 項 目	
⑪ 仮設間仕切り		㊹ 項 目		㊺ 項 目	
⑫ 仮設間仕切り		㊻ 項 目		㊼ 項 目	
⑬ 仮設間仕切り		㊽ 項 目		㊾ 項 目	
⑭ 仮設間仕切り		㊿ 項 目		㋀ 項 目	
⑮ 仮設間仕切り		㋁ 項 目		㋂ 項 目	
⑯ 仮設間仕切り		㋃ 項 目		㋄ 項 目	
⑰ 仮設間仕切り		㋅ 項 目		㋆ 項 目	
⑱ 仮設間仕切り		㋇ 項 目		㋈ 項 目	
㉒ 仮設間仕切り		㋉ 項 目		㋊ 項 目	
㉓ 仮設間仕切り		㋋ 項 目		㋌ 項 目	
㉔ 仮設間仕切り		㋍ 項 目		㋎ 項 目	
㉕ 仮設間仕切り		㋏ 項 目		㋐ 項 目	
㉖ 仮設間仕切り		㋑ 項 目		㋒ 項 目	
㉗ 仮設間仕切り		㋓ 項 目		㋔ 項 目	
㉘ 仮設間仕切り		㋕ 項 目		㋖ 項 目	
㉙ 仮設間仕切り		㋗ 項 目		㋘ 項 目	
㉚ 仮設間仕切り		㋙ 項 目		㋚ 項 目	
㉛ 仮設間仕切り		㋛ 項 目		㋜ 項 目	
㉜ 仮設間仕切り		㋝ 項 目		㋞ 項 目	
㉝ 仮設間仕切り		㋟ 項 目		㋠ 項 目	
㉞ 仮設間仕切り		㋡ 項 目		㋢ 項 目	
㉟ 仮設間仕切り		㋣ 項 目		㋤ 項 目	
㊱ 仮設間仕切り		㋥ 項 目		㋦ 項 目	
㊲ 仮設間仕切り		㋧ 項 目		㋨ 項 目	
㊳ 仮設間仕切り		㋩ 項 目		㋪ 項 目	
㊴ 仮設間仕切り		㋫ 項 目		㋬ 項 目	
㊵ 仮設間仕切り		㋭ 項 目		㋮ 項 目	
㊶ 仮設間仕切り		㋯ 項 目		㋰ 項 目	
㊷ 仮設間仕切り		㋱ 項 目		㋲ 項 目	
㊸ 仮設間仕切り		㋳ 項 目		㋴ 項 目	
㊹ 仮設間仕切り		㋵ 項 目		㋶ 項 目	
㊺ 仮設間仕切り		㋷ 項 目		㋸ 項 目	
㊻ 仮設間仕切り		㋹ 項 目		㋺ 項 目	
㊼ 仮設間仕切り		㋻ 項 目		㋼ 項 目	
㊽ 仮設間仕切り		㋽ 項 目		㋾ 項 目	
㊾ 仮設間仕切り		㋿ 項 目		㋿ 項 目	
㊿ 仮設間仕切り		㌁ 項 目		㌁ 項 目	
㌁ 仮設間仕切り		㌂ 項 目		㌂ 項 目	
㌂ 仮設間仕切り		㌃ 項 目		㌃ 項 目	
㌃ 仮設間仕切り		㌄ 項 目		㌄ 項 目	
㌄ 仮設間仕切り		㌅ 項 目		㌅ 項 目	
㌅ 仮設間仕切り		㌆ 項 目		㌆ 項 目	
㌆ 仮設間仕切り		㌇ 項 目		㌇ 項 目	
㌇ 仮設間仕切り		㌈ 項 目		㌈ 項 目	
㌈ 仮設間仕切り		㌉ 項 目		㌉ 項 目	
㌉ 仮設間仕切り		㌊ 項 目		㌊ 項 目	
㌊ 仮設間仕切り		㌋ 項 目		㌋ 項 目	
㌋ 仮設間仕切り		㌌ 項 目		㌌ 項 目	
㌌ 仮設間仕切り		㌍ 項 目		㌍ 項 目	
㌍ 仮設間仕切り		㌎ 項 目		㌎ 項 目	
㌎ 仮設間仕切り		㌏ 項 目		㌏ 項 目	
㌏ 仮設間仕切り		㌐ 項 目		㌐ 項 目	
㌐ 仮設間仕切り		㌑ 項 目		㌑ 項 目	
㌑ 仮設間仕切り		㌒ 項 目		㌒ 項 目	
㌒ 仮設間仕切り		㌓ 項 目		㌓ 項 目	
㌓ 仮設間仕切り		㌔ 項 目		㌔ 項 目	
㌔ 仮設間仕切り		㌕ 項 目		㌕ 項 目	
㌕ 仮設間仕切り		㌖ 項 目		㌖ 項 目	
㌖ 仮設間仕切り		㌗ 項 目		㌗ 項 目	
㌗ 仮設間仕切り		㌘ 項 目		㌘ 項 目	
㌘ 仮設間仕切り		㌙ 項 目		㌙ 項 目	
㌙ 仮設間仕切り		㌚ 項 目		㌚ 項 目	
㌚ 仮設間仕切り		㌛ 項 目		㌛ 項 目	
㌛ 仮設間仕切り		㌜ 項 目		㌜ 項 目	
㌜ 仮設間仕切り		㌝ 項 目		㌝ 項 目	
㌝ 仮設間仕切り		㌞ 項 目		㌞ 項 目	
㌞ 仮設間仕切り		㌟ 項 目		㌟ 項 目	
㌟ 仮設間仕切り		㌠ 項 目		㌠ 項 目	
㌠ 仮設間仕切り		㌡ 項 目		㌡ 項 目	
㌡ 仮設間仕切り		㌢ 項 目		㌢ 項 目	
㌢ 仮設間仕切り		㌣ 項 目		㌣ 項 目	
㌣ 仮設間仕切り		㌤ 項 目		㌤ 項 目	
㌤ 仮設間仕切り		㌥ 項 目		㌥ 項 目	
㌥ 仮設間仕切り		㌦ 項 目		㌦ 項 目	
㌦ 仮設間仕切り		㌧ 項 目		㌧ 項 目	
㌧ 仮設間仕切り		㌨ 項 目		㌨ 項 目	
㌨ 仮設間仕切り		㌩ 項 目		㌩ 項 目	
㌩ 仮設間仕切り		㌪ 項 目		㌪ 項 目	
㌪ 仮設間仕切り		㌫ 項 目		㌫ 項 目	
㌫ 仮設間仕切り		㌬ 項 目		㌬ 項 目	
㌬ 仮設間仕切り		㌭ 項 目		㌭ 項 目	
㌭ 仮設間仕切り		㌮ 項 目		㌮ 項 目	
㌮ 仮設間仕切り		㌯ 項 目		㌯ 項 目	
㌯ 仮設間仕切り		㌰ 項 目		㌰ 項 目	
㌰ 仮設間仕切り		㌱ 項 目		㌱ 項 目	
㌱ 仮設間仕切り		㌲ 項 目		㌲ 項 目	
㌲ 仮設間仕切り		㌳ 項 目		㌳ 項 目	
㌳ 仮設間仕切り		㌴ 項 目		㌴ 項 目	
㌴ 仮設間仕切り		㌵ 項 目		㌵ 項 目	
㌵ 仮設間仕切り		㌶ 項 目		㌶ 項 目	
㌶ 仮設間仕切り		㌷ 項 目		㌷ 項 目	
㌷ 仮設間仕切り		㌸ 項 目		㌸ 項 目	
㌸ 仮設間仕切り		㌹ 項 目		㌹ 項 目	
㌹ 仮設間仕切り		㌺ 項 目		㌺ 項 目	
㌺ 仮設間仕切り		㌻ 項 目		㌻ 項 目	
㌻ 仮設間仕切り		㌼ 項 目		㌼ 項 目	
㌼ 仮設間仕切り		㌽ 項 目		㌽ 項 目	
㌽ 仮設間仕切り		㌾ 項 目		㌾ 項 目	
㌾ 仮設間仕切り		㌿ 項 目		㌿ 項 目	
㌿ 仮設間仕切り		㍀ 項 目		㍀ 項 目	
㍀ 仮設間仕切り		㍁ 項 目		㍁ 項 目	
㍁ 仮設間仕切り		㍂ 項 目		㍂ 項 目	
㍂ 仮設間仕切り		㍃ 項 目		㍃ 項 目	
㍃ 仮設間仕切り		㍄ 項 目		㍄ 項 目	
㍄ 仮設間仕切り		㍅ 項 目		㍅ 項 目	
㍅ 仮設間仕切り		㍆ 項 目		㍆ 項 目	
㍆ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目	
㍇ 仮設間仕切り		㍈ 項 目		㍈ 項 目	
㍈ 仮設間仕切り		㍉ 項 目		㍉ 項 目	
㍉ 仮設間仕切り		㍊ 項 目		㍊ 項 目	
㍊ 仮設間仕切り		㍋ 項 目		㍋ 項 目	
㍋ 仮設間仕切り		㍌ 項 目		㍌ 項 目	
㍌ 仮設間仕切り		㍍ 項 目		㍍ 項 目	
㍍ 仮設間仕切り		㍎ 項 目		㍎ 項 目	
㍎ 仮設間仕切り		㍇ 項 目		㍇ 項 目</	

・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々（4）接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。 （温冷繰返し試験） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 （7）曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10％とする。	・欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5、6]				モルタル塗替え工法 ・現場調査材料（セメントは改修標準仕様書8.2.5[コンクリートの材料及び調査] (1)による） ・既調合材料（ 既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・													
	(品質・性能)				[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]																	
<table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0％以上</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80kg/L以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm2以上</td></tr><tr><td>温冷繰り返し後</td><td>0.40N/mm2以上</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.20％以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm2以上</td></tr></table>				項目	品質・性能	保水率	70.0％以上	単位容積質量	1.80kg/L以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上	長さ変化率	0.20％以下	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 10~15]				
項目	品質・性能																					
保水率	70.0％以上																					
単位容積質量	1.80kg/L以上																					
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上																					
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上																					
長さ変化率	0.20％以下																					
曲げ強さ	4.0N/mm2以上																					
・既調合モルタル	[4. 2. 2]		(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法（試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」にの7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm2以上を確保していること） （6）長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和																			

・欠損部改修工法

[4.1.4] [4.2.2] [4.5.7, 8]			
工法	接着剤の種類	平均広さ (㎡)	延べ 箇所数
・タイル部分 張替え工法	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリマーセメント モルタル ・JIS A 6567に基づく 一液反応硬化形 変成シリコン樹脂系 		
・タイル 張替え工法	<ul style="list-style-type: none"> ・JIS A 6567に基づく 一液反応硬化形 変成シリコン樹脂系 ・張り付けモルタル ・現場調合材料 ・既調合モルタル 		

1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 2680, 26

[4 1 4] / [4 2 2] [4 5 9~15]

※メッシュ径は、JIS S5007/7/74に準拠している		接着剤の種類	平均広さ (m)	延べ 箇所数
工法		・ポリマーセメント モルタル		
・タイル部分 張替え工法		・JIS A 5557に基づく 一液反応硬化形 変成シリコン樹脂系		
・タイル 張替え工法		・JIS A 5557に基づく 一液反応硬化形 変成シリコン樹脂系 ・張り付けモルタル ・現場調査材料 ・既調合モルタル		

・ 什上塗材什上げ

[4 1 4] [4 5 16]

[4 6 3]

[4, 6, 3]

種 類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	工法等
・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材Si		・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー 塗り

・外壁用塗膜

[4 1 5] [4 7 2] [去4 7 1]

種別 ・ A種 ・ B種

[4, 1, 5][4, 2, 2][4, 2, 2][4, 2, 2]

外壁用塗膜防水塗り

仕上りの形状 土法

※JIS A 6909の耐候形1種相当

下地挙動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない

吹付工法の模様の種類

外壁用仕上塗料の種類

• 所要量 (kg/m)

工事費 1 面約 800 円、計 4 面約 3200 円、大貫部の処理は、改修計画に保
 守 4 章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）に

よる

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4条、外壁改修工事（モルタル浮き・ひび割れ修補改修）による。

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書

4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による

--	--

非常用自家発電装置更新工事

改修特記仕様書（その4）

5章 建具改修工事	・改修工法	<div><div>[5. 1. 3]</div><table><tr><td>建具の種類</td><td>かぶせ工法</td><td>撤去工法</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>-</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td rowspan="2">・鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・内部</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr></table><div>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</div></div>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	-	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による	・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	<div><div>[5. 2. 2] [5. 3. 2～5]</div><p>性能値等</p><p>耐風圧性の等級 ()</p><p>気密性の等級 ()</p><p>水密性の等級 ()</p><p>外部に面する建具の種類</p><p>・A種 (建具符号: ・建具表による)</p><p>・B種 (建具符号: ・建具表による)</p><p>・C種 (建具符号: ・建具表による)</p><p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p><p>防音ドア・防音サッシ</p><p>遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</p><p>断熱ドア・断熱サッシG</p><p>断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6)</p><p>表面色 ・標準色 ・特注色</p><p>水切り板、ぜん板 ※図示</p><p>ガラス ・ ※複層ガラス</p></div>	・鋼製建具	<div><div>[5. 2. 2] [5. 3. 2～4] [表5. 4. 2]</div><p>性能等級</p><p>簡易気密型ドアセット</p><p>・適用する (建具符号: ・建具表による)</p><p>・適用しない</p><p>外部に面する建具の耐風圧性</p><p>・S-4 (建具符号: ・建具表による)</p><p>・S-5 (建具符号: ・建具表による)</p><p>・S-6 (建具符号: ・建具表による)</p><p>防音ドア・防音サッシ</p><p>遮音性の等級 (・)</p><p>断熱ドア・断熱サッシG</p><p>断熱性の等級 (・)</p><p>耐震ドア</p><p>面内変形追随性の等級 (・)</p><p>鋼板の厚さ</p><p>mm</p><p>※改修標準仕様書表5. 4. 2による</p><p>ステンレス鋼板</p><p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p></div>	・鋼製軽量建具	<div><div>[5. 2. 2] [5. 5. 2～4]</div><p>性能等級</p><p>簡易気密型ドアセット</p><p>・適用する</p><p>・適用しない</p><p>防音ドア・防音サッシ</p><p>遮音性の等級 (・)</p><p>断熱ドア・断熱サッシG</p><p>断熱性の等級 (・)</p><p>耐震ドア</p><p>面内変形追随性の等級 (・)</p><p>鋼板の種類</p><p>・垂割めつき鋼板</p><p>・ビニル被膜鋼板</p><p>・ガラー鋼板</p><p>・ステンレス鋼板</p><p>鋼板の厚さ</p><p>mm</p><p>※改修標準仕様書表5. 5. 1による</p><p>ステンレス鋼板</p><p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p><p>召合せ、縦小口包み板の材質</p><p>※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出型材</p></div>	・ステンレス製建具	<div><div>[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]</div><p>性能等級</p><p>簡易気密型ドアセット</p><p>・適用する</p><p>・適用しない</p><p>外部に面する建具の耐風圧性</p><p>・S-4 ・S-5 ・S-6</p><p>防音ドア・防音サッシ</p><p>遮音性の等級 (・)</p><p>断熱ドア・断熱サッシG</p><p>断熱性の等級 (・)</p><p>耐震ドア</p><p>面内変形追随性の等級 (・)</p><p>ステンレス鋼板</p><p>・</p><p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p><p>※H L ・鏡面仕上げ</p><p>表面仕上げ</p><p>ステンレス鋼板の曲げ加工</p><p>※普通曲げ ・角出し曲げ</p></div>	・建具用金物	<div><div>[5. 7. 1～3]</div><p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p><p>※改修標準仕様書表5. 7. 1により適用は建具表による。</p><p>金属製建具用丁番の枚数及び大きさ</p><p>・建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 2による</p><p>樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ</p><p>・建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 3による</p><p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p><p>・建具表による</p></div>	・錠前類	<p>【シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠】</p> <p>(品質)</p> <p>デッドボルトの寸法は17mm以上とする。</p> <p>鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p>	・性能)	<div>1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</div> <div>2) キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。 (シリンダ本締り錠のみ) シリンダ単体の施解錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</div> <div>3) キーによる施錠機構の施解錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。</div> <div>4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10 N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。 (キーに加えるトルクは、150N・cmとする)。</div>	【レバーハンドル】	<p>(性能)</p> <p>ねじり強度</p> <p>引張り強度</p> <p>垂直荷重強度</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一錠一第1部：試験方法) による。</p> <p>・クロアザ類</p> <p>(品質・性能)</p> <table><tr><th rowspan="2">性能試験項目</th><th colspan="2">区分</th><th colspan="2">①ドアクロアザ</th><th colspan="2">②ヒンジクロアザ</th><th colspan="2">③フロアヒンジ</th></tr><tr><th>閉じ力及び効率に要する区分 (注1) (注2)</th><th>Grad e2</th><th>番 手</th><th>閉じモーメント (N・m)</th><th>効率 (%)</th><th>閉じモーメント (N・m)</th><th>効率 (%)</th><th>閉じモーメント (N・m)</th><th>効率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="6">初 期 値</td><td>1</td><td>5</td><td>以上</td><td>30</td><td>以上</td><td>5</td><td>以上</td><td>30</td><td>以上</td></tr><tr><td>2</td><td>10</td><td>以上</td><td>30</td><td>以上</td><td>10</td><td>以上</td><td>30</td><td>以上</td></tr><tr><td>3</td><td>15</td><td>以上</td><td>35</td><td>以上</td><td>15</td><td>以上</td><td>35</td><td>以上</td></tr><tr><td>4</td><td>25</td><td>以上</td><td>40</td><td>以上</td><td>25</td><td>以上</td><td>40</td><td>以上</td></tr><tr><td>5</td><td>35</td><td>以上</td><td>45</td><td>以上</td><td>35</td><td>以上</td><td>45</td><td>以上</td></tr><tr><td>6</td><td>45</td><td>以上</td><td>45</td><td>以上</td><td>45</td><td>以上</td><td>45</td><td>以上</td></tr></table> <p>閉じ速度 (秒)</p> <p>常温 (5～35℃) 無風状態において、閉閉 (70°) から全開 (0°) までの時間を5～8秒に調整できること。</p> <p>温度依存性 (℃)</p> <p>街衛油の流動点並びに石油製品曇り点試験方法) により測定し、-15℃以下であること。</p> <p>ストップ力</p> <p>ストップ入力</p> <p>60 N・m以下 但しコンシールド型は200 N・m以下</p> <p>ストップ解除力</p> <p>8 N・m以上</p> <p>3 N・m以上</p> <p>10 N・m以上</p> <p>バックチェック性能 (秒)</p> <p>バックチェック機能を有する機種のみ適用)</p> <p>ドア開閉方向に荷重60 N/mを開閉50° から負荷する機種のみ適用)</p> <p>バックチェック開始角度 (70±8°) から更に20° まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。</p>	性能試験項目	区分		①ドアクロアザ		②ヒンジクロアザ		③フロアヒンジ		閉じ力及び効率に要する区分 (注1) (注2)	Grad e2	番 手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	初 期 値	1	5	以上	30	以上	5	以上	30	以上	2	10	以上	30	以上	10	以上	30	以上	3	15	以上	35	以上	15	以上	35	以上	4	25	以上	40	以上	25	以上	40	以上	5	35	以上	45	以上	35	以上	45	以上	6	45	以上	45	以上	45	以上	45	以上		
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																				
	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																				
	・樹脂製建具	-	・	・建具表による																																																																																																																				
	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による																																																																																																																				
		・内部	・	・建具表による																																																																																																																				
	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																																																																																																																				
	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																				
	性能試験項目	区分		①ドアクロアザ		②ヒンジクロアザ		③フロアヒンジ																																																																																																																
		閉じ力及び効率に要する区分 (注1) (注2)	Grad e2	番 手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)																																																																																																														
初 期 値	1	5	以上	30	以上	5	以上	30	以上																																																																																																															
	2	10	以上	30	以上	10	以上	30	以上																																																																																																															
	3	15	以上	35	以上	15	以上	35	以上																																																																																																															
	4	25	以上	40	以上	25	以上	40	以上																																																																																																															
	5	35	以上	45	以上	35	以上	45	以上																																																																																																															
	6	45	以上	45	以上	45	以上	45	以上																																																																																																															
・防火戸	<div><div>[5. 1. 4]</div><p>・指定する 適用箇所 (・建具表による)</p><p>・指定しない</p><p>ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動</p><p>・連動させる (・建具表による)</p><p>・連動させない</p></div>	・見本の製作等	<div><div>[5. 1. 5]</div><p>建具見本の製作</p><p>・行う (建具符号:)</p><p>・行わない</p><p>建具見本の程度</p><p>・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する</p><p>・納まり等が分かる程度のもの</p><p>特殊な建具の仮組</p><p>・行う (建具符号:)</p><p>・行わない</p></div>	・防犯建物部品	<div><div>[5. 1. 7]</div><p>・適用する () 適用箇所 (・建具表による)</p><p>・適用しない</p></div>	・アルミニウム製建具	<div><div>[5. 2. 2～5] [表5. 2. 2]</div><p>性能値等</p><p>耐風圧性の等級 (・)</p><p>(建具符号: ・建具表による)</p><p>気密性の等級 (・)</p><p>(建具符号: ・建具表による)</p><p>水密性の等級 (・)</p><p>(建具符号: ・建具表による)</p><p>外部に面する建具の種類</p><p>・A種 (建具符号: ・建具表による)</p><p>・B種 (建具符号: ・建具表による)</p><p>・C種 (建具符号: ・建具表による)</p><p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p><p>防音ドア・防音サッシ</p><p>遮音性の等級 (・)</p><p>(建具符号: ・建具表による)</p><p>断熱ドア・断熱サッシG</p><p>断熱性の等級 (・)</p><p>(建具符号: ・建具表による)</p><p>耐震ドア</p><p>面内変形追随性の等級 (・)</p><p>(建具符号: ・建具表による)</p><p>表面処理</p><p>外部に面する建具 ・BB-1 ・BB-2</p><p>着色 ・標準色 (・) ・特注色 ()</p><p>屋内の建具 ・BC-1 ・BC-2</p><p>着色 ・標準色 (・) ・特注色 ()</p><p>ステンレス鋼板</p><p>・</p><p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p><p>結露水の処理方法 ・図示</p><p>水切り板、ぜん板 ・図示</p></div>	・網戸等	<div><div>[5. 2. 3, 5. 3. 3]</div><table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>線径</th><th>網目</th></tr><tr><td>・防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td><td>※0. 25mm以上</td><td>※16～18メッシュ</td></tr><tr><td>・防鳥網</td><td>ステンレス (SUS304) 線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table></div>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																																																																			
種類	材質	線径	網目																																																																																																																					
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ																																																																																																																					
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																																																																																					

	(工事名) 環境放射線測定局 (尾蔵局ほか7局)		
	改修特記仕様書 (その5)		5
青森県	年月		建

	<table><tr><td>初期値</td><td>ディレードアクション性能(秒) ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。</td><td>開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>戸の開鎖位置(中心吊り込み面自由のみに適用)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>±3mm以内</td></tr><tr><td>耐久性能</td><td>繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m) 繰返し開閉後の効率(%) 繰返し開閉後の閉じ速度(秒) 繰返し開閉後のバックチェック性能(秒) 繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒) 繰り返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)</td><td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 —</td><td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 — — — —</td><td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。 — — — — — 耐久試験後±6mm以内</td></tr><tr><td>耐久性の試験回数(繰り返し開閉回数)</td><td>Grade 2</td><td>20万回</td><td>10万回</td><td>30万回</td></tr></table> <p>注1.パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2.コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 Grade1を選定する場合は、図示による。</p> <p>(試験方法) 1)性能試験は、JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。 2)試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。</p> <p>・鍵</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる</p> <p>その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 鍵箱 ・無 ・有</p> <p>・自動ドア開閉装置</p> <p>・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.8.5による ・種類・開閉方式() ・耐電圧() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)() ・防錆() ・電源()</p> <p>・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.8.6による ・耐電圧() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)()</p>	初期値	ディレードアクション性能(秒) ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	—	—	戸の開鎖位置(中心吊り込み面自由のみに適用)	—	—	—	±3mm以内	耐久性能	繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m) 繰返し開閉後の効率(%) 繰返し開閉後の閉じ速度(秒) 繰返し開閉後のバックチェック性能(秒) 繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒) 繰り返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 —	耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 — — — —	耐久試験後も上記初期値を満足していること。 — — — — — 耐久試験後±6mm以内	耐久性の試験回数(繰り返し開閉回数)	Grade 2	20万回	10万回	30万回	<p>・防錆() ・電源()</p> <p>・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.8.3による ・放射無線周波数電磁界耐性() ・耐電圧() ・防錆() ・防滴() ・電源()</p> <p>戸の開閉方式 引き戸検出装置の種類 凍結防止措置</p> <p>・建具表による 改修標準仕様書表5.8.4による ・建具表による ・適用する ・適用しない</p> <p>性能値等 ※改修標準仕様書表5.9.1による ・手動開き力() ・手動閉じ力() ・閉じ速度の調整() ・制動区間() ・開閉繰返し() ・耐衝撃性()</p> <p>(試験方法) (1)耐久性(開閉繰返し)試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの作動を確認できる試験を行う。 同試験に用いる試験体は片引とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 (2)耐衝撃性試験 落下高さ170cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3)気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度()N/m² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度()N/m² ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 二重シャーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける(設置箇所)・図示() 「防火区間に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・設けない 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度()N/m² スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(※AZ90)</p> <p>・自重シャッター</p> <p>・軽量シャッター</p>	<p>スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>・オーバーヘッドドア</p> <p>・ガラス</p> <p>セクション材料による区分 耐風圧性能区分(Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料</p> <p>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタ イブ</p> <p>・125(1250) ・100(1000) ・75(750) ・50(500)</p> <p>※バラン ス式 ・チェン ス式 ・電動式</p> <p>・スタン ード式 ・ローヘッ ド式 ・ハイリフ ト式 ・パーチカ ル式</p> <p>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレ ス鋼板 ※SUS304、 SUS430J1L、 又はSUS443 J1</p> <p>障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ・図示</p> <p>フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による 型板ガラスの厚さによる種類 ・建具表による 網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の形態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅱ類 ・Ⅲ類 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・TⅠ ・TⅡ ・TⅢ ・TⅣ ・TⅤ ・TⅥ 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ⅠS 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン 熱線放射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱透過性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類 映像調整 ・行わない ・行う 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table><tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>○シーリング材 ・ガスケット ・グレイジング ・チャンネル</td><td>・図示 ○建具の製造所の仕様による</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>・図示 ・建具の製造所の仕様による</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>・図示 ・建具の製造所の仕様による</td></tr></table>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	○シーリング材 ・ガスケット ・グレイジング ・チャンネル	・図示 ○建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	・図示 ・建具の製造所の仕様による	ステンレス製	・シーリング材	・図示 ・建具の製造所の仕様による	<p>・ガラスブロック</p> <p>・ガラス用フィルム</p> <p>6章内装改修工事</p> <p>・改修範囲</p> <p>・既存床の撤去及び下地補修</p> <p>・既存壁の撤去及び下地補修</p> <table><tr><th>表面形状</th><th>呼び寸法</th><th>厚さ</th><th>色調 クリ ア</th><th>目地幅(mm) 平積み</th><th>伸縮調整目地位置(mm)</th><th>防火性能</th></tr><tr><td>正方形</td><td>・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320</td><td>80 125 95</td><td>・ ・ ・</td><td>・8~15 ・15~25</td><td>外側 ※15以下 内側 ※6以上</td><td>・図示 ※6以下 ※無し ・有り</td></tr><tr><td>長方形</td><td>・250×125 ・320×160</td><td>80 95</td><td>・ ・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>壁用金属枠及び補強材 ・形状 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径6.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色() 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p> <table><tr><th>種類</th><th>記号</th><th>その他性能等</th></tr><tr><td>・日射調整フィルムG</td><td>・SC-1 ・SC-2</td><td></td></tr><tr><td>・低放射フィルム</td><td>・LE</td><td></td></tr><tr><td>・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td><td>・GI-1 ・GI-2</td><td></td></tr><tr><td>・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td><td>・GD-1 ・GD-1</td><td></td></tr><tr><td>・ガラス貫通防止フィルム</td><td>・SF</td><td></td></tr></table> <p>品質 JIS A 8759Iによる。</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示</p> <p>ビニル床シート等の撤去 ※仕上材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示</p> <p>(工事名) 環境放射線測定局(尾鷲局ほか7局) 非常用自家発電装置更新工事 改修特記仕様書(その6) 青森県 年 月</p> <p>6 建</p>	表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリ ア	目地幅(mm) 平積み	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能	正方形	・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320	80 125 95	・ ・ ・	・8~15 ・15~25	外側 ※15以下 内側 ※6以上	・図示 ※6以下 ※無し ・有り	長方形	・250×125 ・320×160	80 95	・ ・				種類	記号	その他性能等	・日射調整フィルムG	・SC-1 ・SC-2		・低放射フィルム	・LE		・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GI-1 ・GI-2		・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1		・ガラス貫通防止フィルム	・SF	
初期値	ディレードアクション性能(秒) ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	—	—																																																																							
戸の開鎖位置(中心吊り込み面自由のみに適用)	—	—	—	±3mm以内																																																																							
耐久性能	繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m) 繰返し開閉後の効率(%) 繰返し開閉後の閉じ速度(秒) 繰返し開閉後のバックチェック性能(秒) 繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒) 繰り返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 —	耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 — — — —	耐久試験後も上記初期値を満足していること。 — — — — — 耐久試験後±6mm以内																																																																							
耐久性の試験回数(繰り返し開閉回数)	Grade 2	20万回	10万回	30万回																																																																							
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																									
アルミニウム製	○シーリング材 ・ガスケット ・グレイジング ・チャンネル	・図示 ○建具の製造所の仕様による																																																																									
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	・図示 ・建具の製造所の仕様による																																																																									
ステンレス製	・シーリング材	・図示 ・建具の製造所の仕様による																																																																									
表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリ ア	目地幅(mm) 平積み	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能																																																																					
正方形	・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320	80 125 95	・ ・ ・	・8~15 ・15~25	外側 ※15以下 内側 ※6以上	・図示 ※6以下 ※無し ・有り																																																																					
長方形	・250×125 ・320×160	80 95	・ ・																																																																								
種類	記号	その他性能等																																																																									
・日射調整フィルムG	・SC-1 ・SC-2																																																																										
・低放射フィルム	・LE																																																																										
・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GI-1 ・GI-2																																																																										
・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1																																																																										
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																										

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用G	成形方法による区分				吸水率による区分		うわぐすり	役物		色	耐凍害性	耐滑り性
			A	B	I	II	III	IV		有	無			
			種	種	種	種	種	種	施ゆう	有	無	標準特性	有	無
			種	種	種	種	種	種	施ゆう	有	無	標準特性	有	無

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

既調合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等をすめ工場において所定の割合に配合した材料とする
(品質・性能)

項目		品質・性能
保水率		70.0%以上
単位容積質量		1,80kg/L以上
接着強さ	標準時	0,60N/mm2以上
	温冷繰り返し後	0,40N/mm2以上
長さ変化率		0,20%以下
曲げ強さ		4,0N/mm2以上

(試験方法)

(1) 試料の調製

製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるのに要する材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。

繰り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料とする。

(2) 保水率の試験方法

JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、（1）で調製した試料を金べらで平滑に詰め込む。

その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にはろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。

保水率＝50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径 mm

(3) 単位容積質量の試験方法

JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

(4) 接着強さ（標準時）の試験方法

① 適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)

JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「150角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）」を圧着する。

その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

(試験方法)

JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みをえ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。（全てが0,6N/mm2以上を確保していること）
また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選

び明記する。

T : タイルの母材破断
TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断
M : 既調合モルタルの母材破断
MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断
G : 下地板の母材破断

② 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)

JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「小口タイル708mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。

その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

(試験方法)

「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法

(試験体の作製)

「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々（4）接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。

(温冷繰返し試験)

「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」に7.11温冷繰返し試験に準じて行う。

試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちにー20±2℃の恒温槽中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温槽中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。

(温冷繰返し後の接着強さ試験方法)

「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0,4N/mm2以上を確保していること）

(6) 長さ変化率の試験方法

JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率を準ずる。

(7) 曲げ強さの試験方法

JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11の曲げ強さ試験に準ずる。

試験室の状態： 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

既調合目地材

(品質・性能)

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0,2%以下（収縮）
吸水率	50g以下
単位容積質量	1,80kg/L以上

(試験方法)

(1) 試験の条件

試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。

(2) 試料の調整

正味質量と標準繰り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を繰り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の繰り混ぜ水を計算して用意する。

繰り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間繰り混ぜて試料とする。

(3) 保水性（ろ紙法）

JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦200mm、横200mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径18.5cm）をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、（2）で繰り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にはろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。

試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水

率を求める。

保水率（%）＝50/平均値×100
注）50：リング型わくの内径（mm）

(4) 単位容積質量

（2）で繰り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。

(5) 長さ変化率

（2）で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。

(6) 吸水率

（3）で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水率を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張りタイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材料の適用G	成形方法による区分			吸水率による区分			うわぐすり	役物		色	耐凍害性	耐滑り性				
			A	B	I	II	III	施ゆう		有	無				標準	特性	有	無
			種	種	種	種	種	種		種	種				種	種	種	種

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行かない

内装タイル接着剤張りを使用する有機接着剤系のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

[6.17.2. 3]

種類及び品質 ・セッコウ系 ・セメント系
標準塗厚（mm）

・セルフレベリング材塗り

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・

防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。
（箇所： ）

[7. 2. 1～7]

塗替えR・B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30% ・図示 ・

既存禁止め塗料の鉛含有量調査

・行う（箇所） ・行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※RB種 ・	・RA種 ・RB種	—
鉄鋼面	※RB種 ・	・RA種	—
亜鉛めっき鋼面	※RB種 ・	・RA種	—
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種 ・	・RC種	—
モルタル面、プラスタ一面	※RB種 ・	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※RB種 ・	・RA種	・行う ・行わない
押出成形セメント板	・RA種 ・RB種 ・RC種	・RA種 ・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種 ・RC種	・RA種	・行う ・行わない
セッコウボード面及びその他ボード面	※RB種 ・	・RA種 ・RB種	—

・錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別				(7. 3. 2. 3)	
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	A種	※C種 ・	・
		新規見え掛り	A種	※A種 ・	
		新規見え隠れ	A種	※B種 ・	
EP-G		塗替え	※B種 ・A種	※C種 ・	・
		新規見え掛り	※B種 ・A種	※A種 ・	
		新規見え隠れ	※B種 ・A種	※B種 ・	
EP-G以外		塗替え	※B種 ・B種	※C種 ・	・
		新規鋼製建具等	C種	※A種 ・	
		塗替え	※A種 ・B種	※C種 ・	
EP-G		新規鋼製建具等	C種	※A種 ・	・

・塗装

(7. 4. 2～7. 14. 2)			
塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂 ・鉄鋼面 ・亜鉛めっき鋼面（鋼製建具） ・塗料の種類 ※1種・2種	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・
	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種 ・	※B種 ・
・クリヤラッカー塗り（CL）		※B種 ・A種	※B種 ・A種
	・フタル酸樹脂エマルシオン塗り（FE）	—	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ND）		※B種 ・A種	※B種 ・A種
	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級	・	A種
・耐油性塗料塗り（DP）	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	A種
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等	※ B種	・A種 ・B種
	屋内の木部	※ B種	※A種 ・
・合成樹脂エマルシオンペイント塗り（EP）	屋内の鉄鋼面	※ B種	・A種 ・B種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルシオン模様塗料塗り（EP-T）		※ B種	・A種 ・B種
	・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	※B種 ・A種	※B種 ・A種
・オイルステイン塗り（OS） ・塗料（ ・油性 ・水性）		—	—
	・木材保護塗料塗り（WP）	※B種 ・A種	※B種 ・A種

（工事名）環境放射線測定局（尾崎局ほか7局）
非常用自家発電装置更新工事

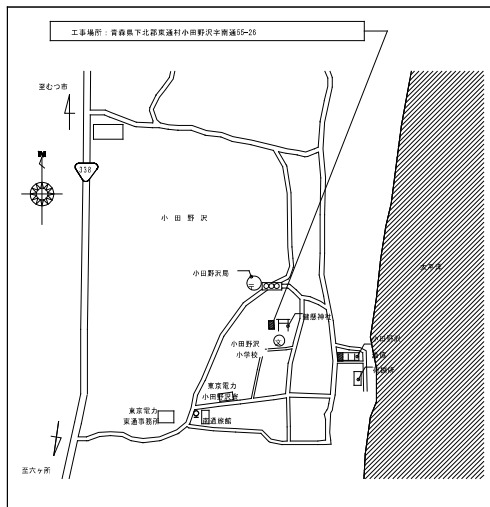
改修特記仕様書（その9）

青森県

年月

9
建

・普通ボルト	摩擦面の処理方法 ・自然発錆（黒皮等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態） ・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上） ・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験において、対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況の確認をする。	[8.13.2] (7.2.3)	ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書表7.2.3（JIS附属書品）又は次による。 ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は4.6又は4.8とする。 なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ねじの呼び径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1180とする。 ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。	座金 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による（ ） 母屋又は鋼梁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm	・仮組 ・溶接技能者の技 量付加試験 ・溶接接合	仮組を行う範囲 ・図示による（ ）	[8.13.10]	・アンカーボルト の設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による（ ） 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による（ ） 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による（ ） 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 厚さ 種別 ※A	(7.10.3)	試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による			
	・溶融亜鉛めっき 高力ボルト	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による（ ） 摩擦面の処理方法 ・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上） ・りん酸塩処理 ・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験において、対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する				[8.13.2] [8.14.2] [8.20.5]	・溶接部の試験		[8.15.12]	・穿孔		[8.12.4]	・スリットの 方式、幅及び深さ ・スリットの 施工前の埋込配管等の探査 ・スリットの 充填材の挿入及び周囲補修等	[8.25.2]
・溶接材料	溶接材料 ・改修標準仕様書8.2.10(1) (2)による	[8.2.10]	・溶接材料		・錆止め塗装	塗装の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による（ ） 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示による（ ） 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類	[7.3.3] [8.17.2, 4]	・あと 施工アンカーの穿孔工法	耐火改修部材に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。		⑧ 章 土木 工事 及び 地業 工事	○埋戻し 及び盛土 ・山留めの撤去	埋戻し及び盛土 ・A種 適用場所（ ） ○B種 適用場所（ ） ・C種 適用場所（ ） 土質（ ） 受渡場所（ ） ・D種 適用場所（ ） 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する 山留めの存置 ・行う（存置範囲 ※図示（ ））	
・スタッド	種類等 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22	[8.2.11]	・スタッド			種類、材料、工法等	[8.18.2～8]	・柱底均し モルタル及び グラウト材	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・グラウト材 ・無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミニウム等によって膨張する性質を利用するもの）とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	[8.2.12]				・コンシ テンシー 練混ぜ完了から 3分以内の値 ： 8±2秒 ブリージ ング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 ： 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 ： 1時間以上 終結時間 ： 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm2以上 材齢 28日 40.0N/mm2以上 塩化物量 0.30kg/m3以下
・製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて、次による。 通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	[8.13.3]			・耐火被覆	種類、材料、工法等	[8.18.2～8]							



見取図

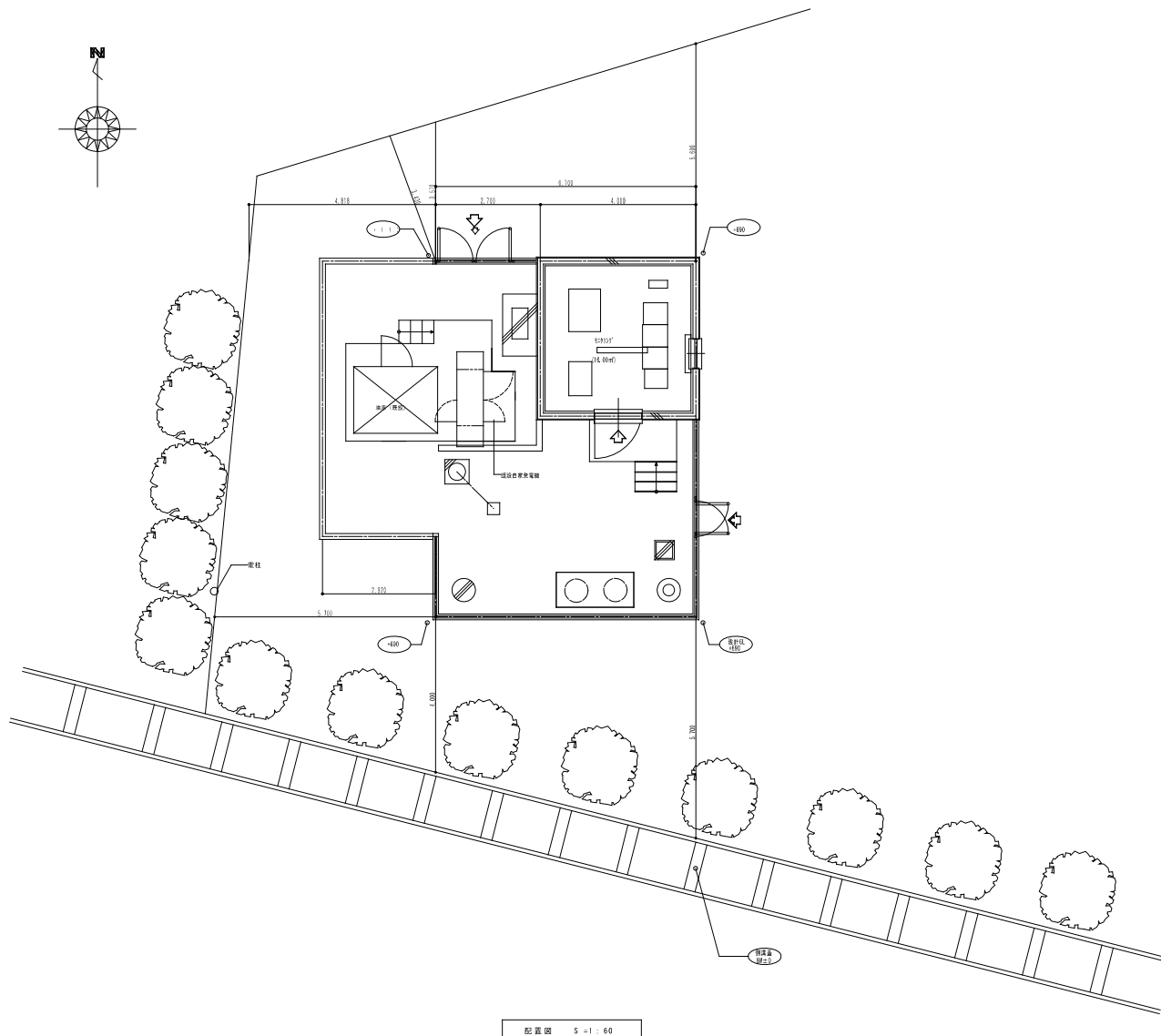
電気設備工事改修概要

目的：自家発電装置の更新を行う。

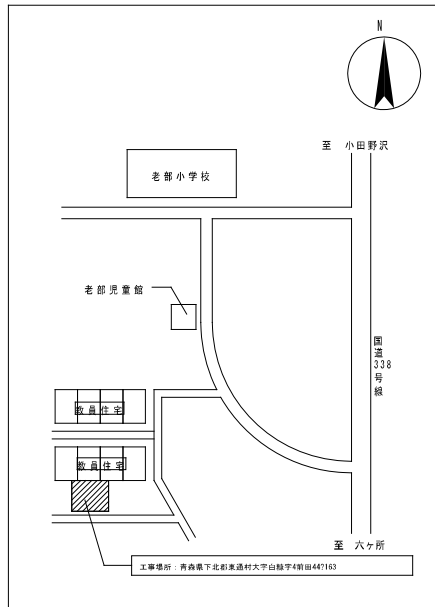
工事内容

1. 既設発電装置の撤去・新設
2. 既設発電装置と既設油タンクの油配管の撤去・新設
3. 既設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの撤去
4. 新設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの新設
5. 一部既存発電装置基礎の増設
6. 消火器移設及び新設

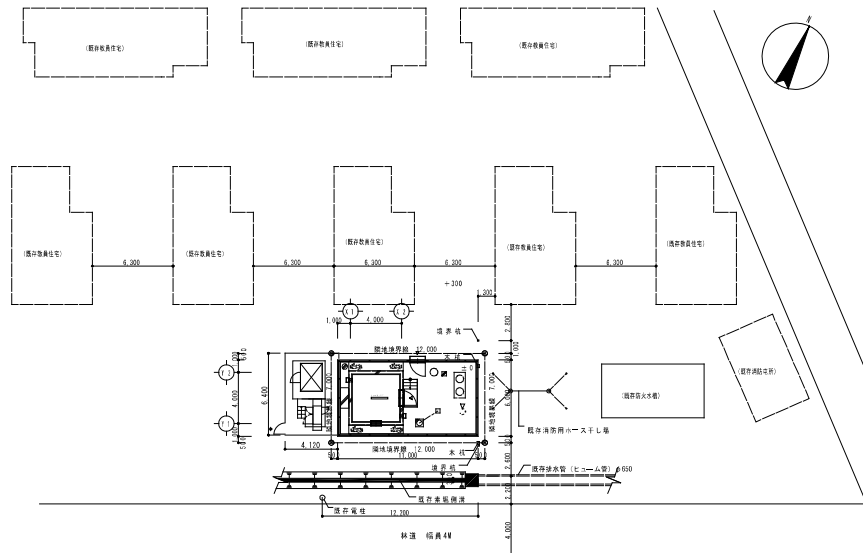
※ 引渡し時はタンクを満タンとすること。



配置図 S=1:60



見取図



配置図 S=1:200

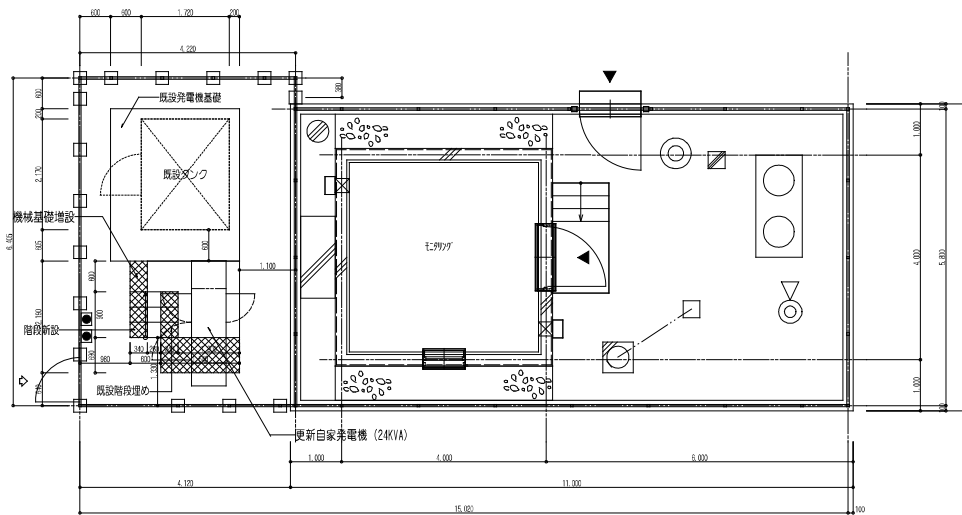
電気設備工事改修概要

目的：自家発電装置の更新を行う。

工事内容

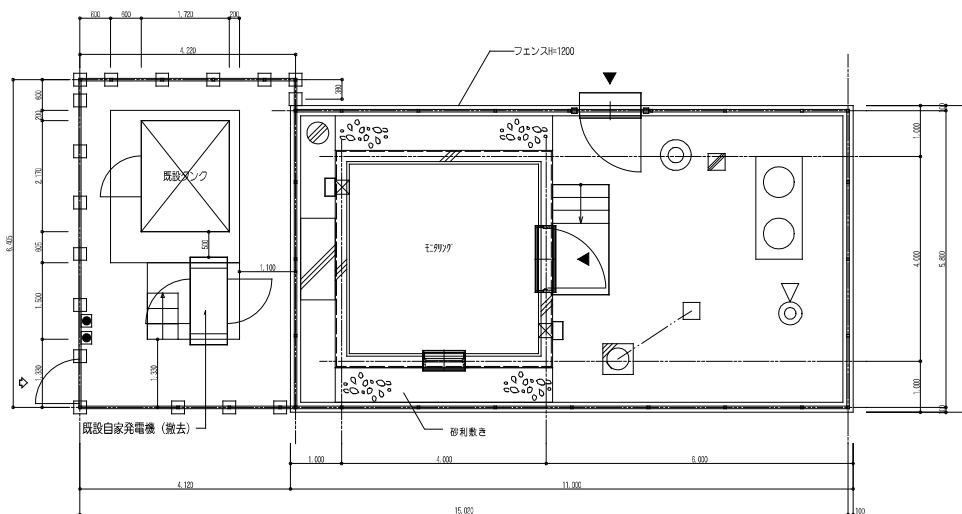
1. 既設発電装置の撤去・新設
2. 既設発電装置と既設油タンクの油配管の撤去・新設。
3. 既設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの撤去
4. 新設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの新設。
5. 一部既存発電装置基礎の増設。
6. 消火器移設及び新設。

※ 引渡し時はタンクを満タンとすること。



平面図 (改修後) S = 1 : 50

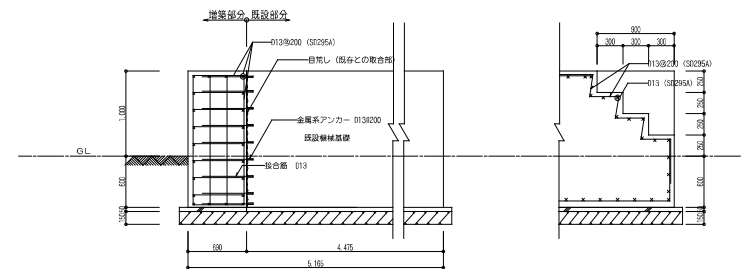
凡 例
 既存階段埋めを示す。



平面図 (改修前) S = 1 : 50

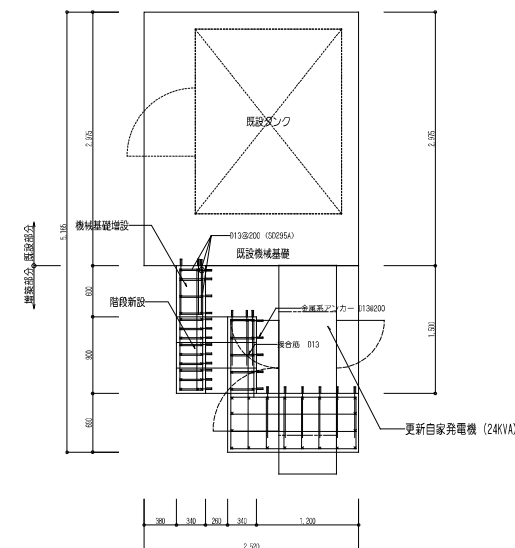
使用材料	
コンクリート	設計基準強度 (N) 24kN/m ²
スラブ	150
鉄筋	SD295A 縦筋断面径 400

※ 共通事項: 既存躯体面との接合部は、仕上材をハンパリ貼しの上図示とする。
 ※ 金属系アンカーの仕様は次の通りとする。
 (1) 埋込深さ 5φ以上
 (2) 接合部は金属系アンカーと同様とし、5φ以上とする。

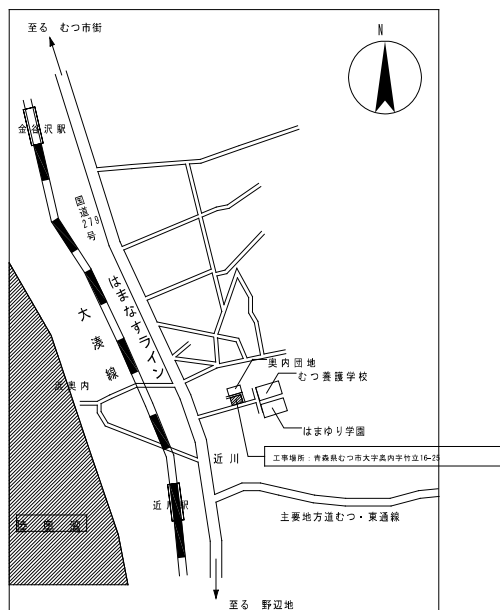


一般基礎断面図 S = 1 : 30

新設階段部分断面図 S = 1 : 30



一般基礎平面詳細図 S = 1 : 30



見取図

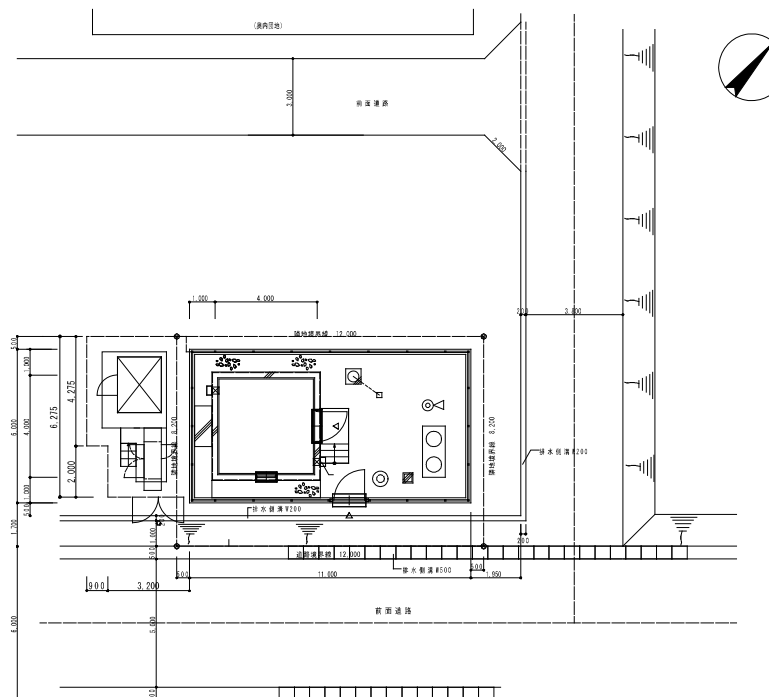
電気設備工事改修概要

目的：自家発電電装置の更新を行う。

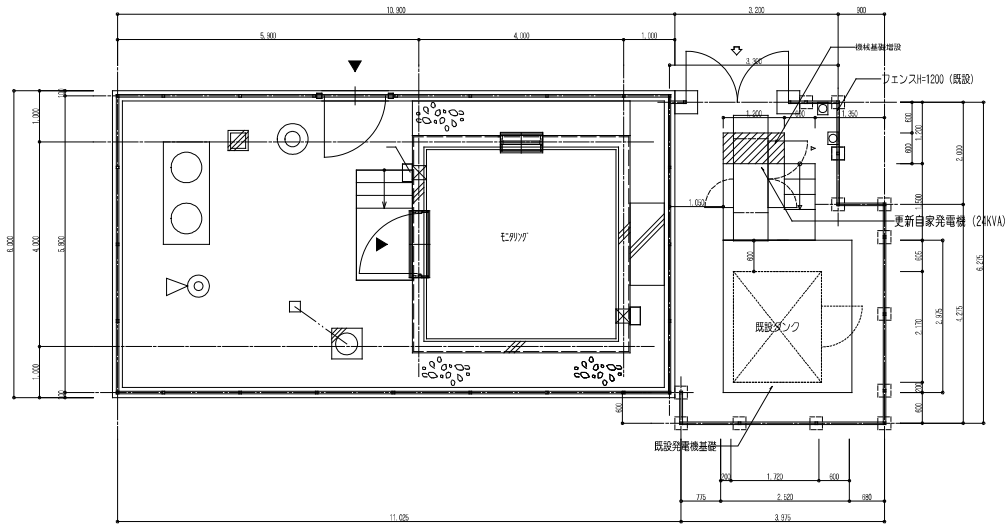
工事内容

1. 既設発電装置の撤去・新設
2. 既設発電装置と既設油タンクの油配管の撤去・新設。
3. 既設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの撤去と一部配管の撤去。
4. 新設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの新設と一部配管の新設。
5. 一部既存発電装置基礎の増設。
6. 消火器移設及び新設。

※ 引渡し時はタンクを満タンとすること。

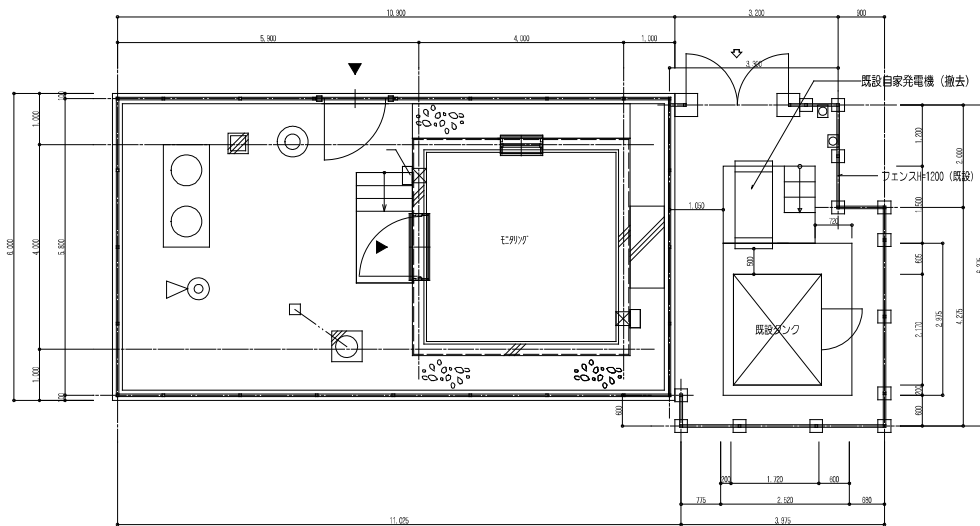


配管図 S=1:100



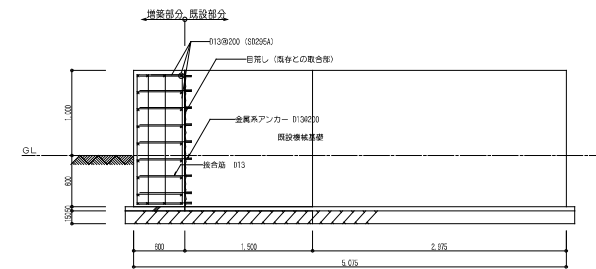
平面図 (改修後) S = 1:50

基礎部分を示す。

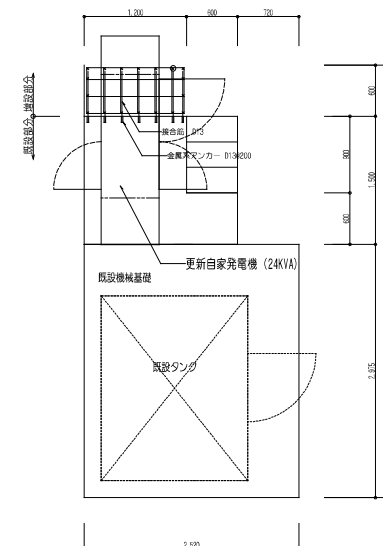


平面図 (改修前) S = 1:50

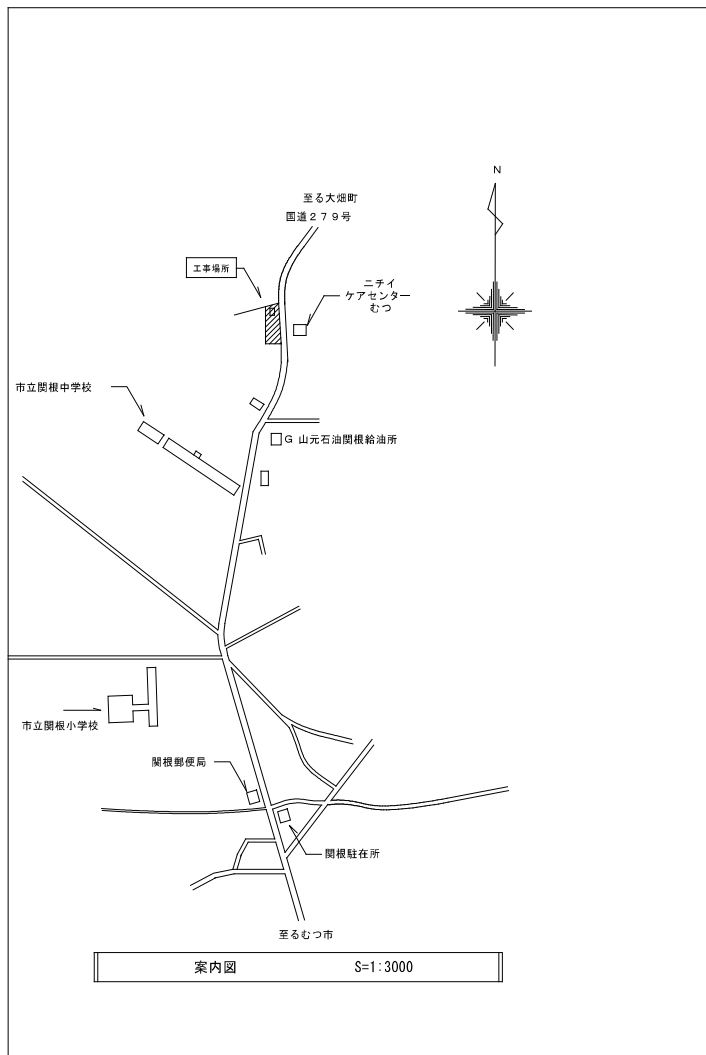
使用材料		
コンクリート	設計標準強度 Fd	27N/m ²
鉄筋	スラブ	15mm
	筋鉄	SD35A
	筋鉄	SD35A
※ 其の他事項 図の断線部との断線部は、仕上げはハナリ出しの上目隠しとする。		
※ 金属系アンカーの仕様は次の通りとする。		
(1) 埋込深さ 50以上		
(2) 埋込部は金属系アンカーと同様とし、35以上とする。		



一般基礎断面図 S = 1:30



一般基礎平面詳細図 S = 1:30



電気設備工事改修概要

目的：自家発電装置の更新を行う。

工事内容

1. 既設発電装置の撤去・新設

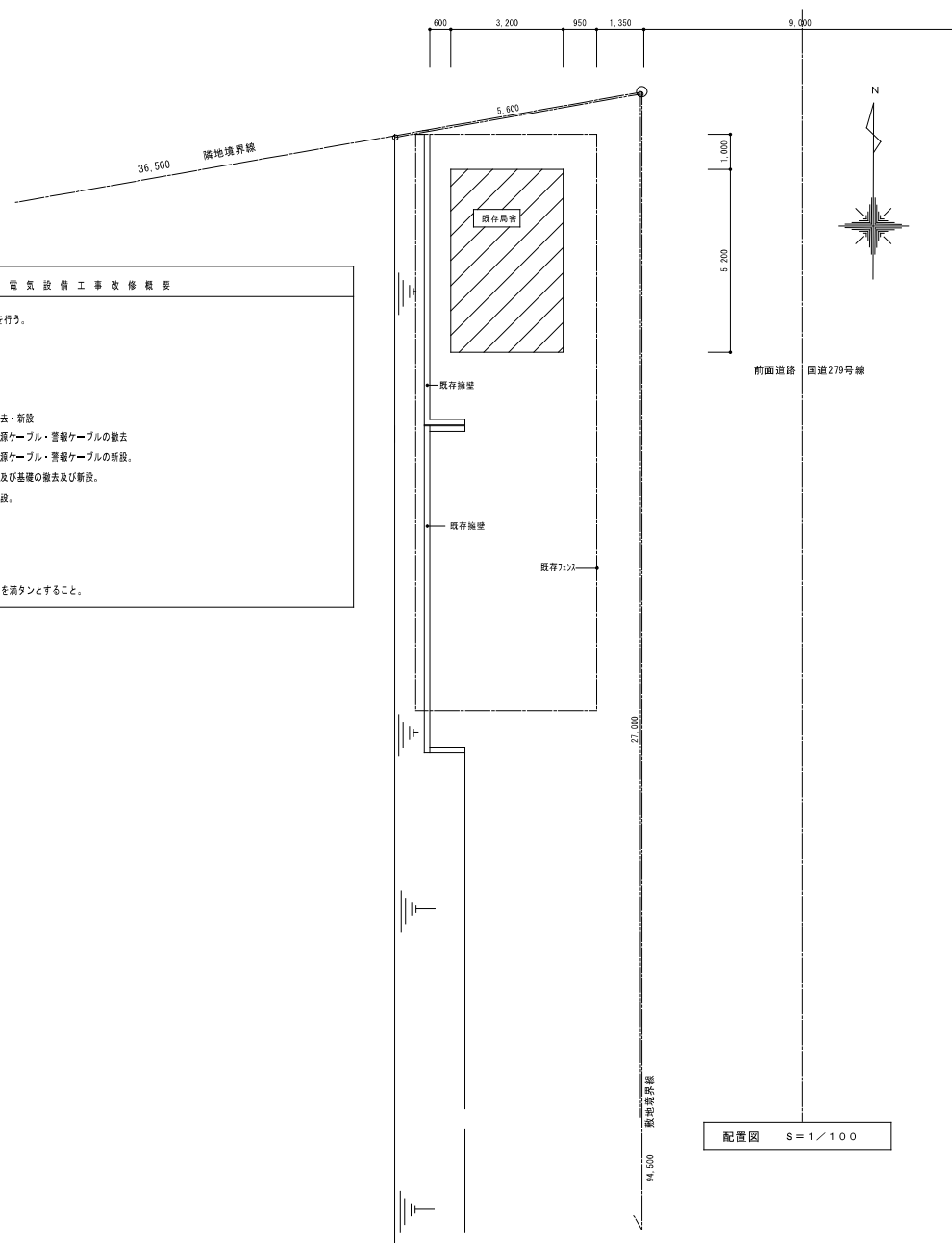
2. 既設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの撤去

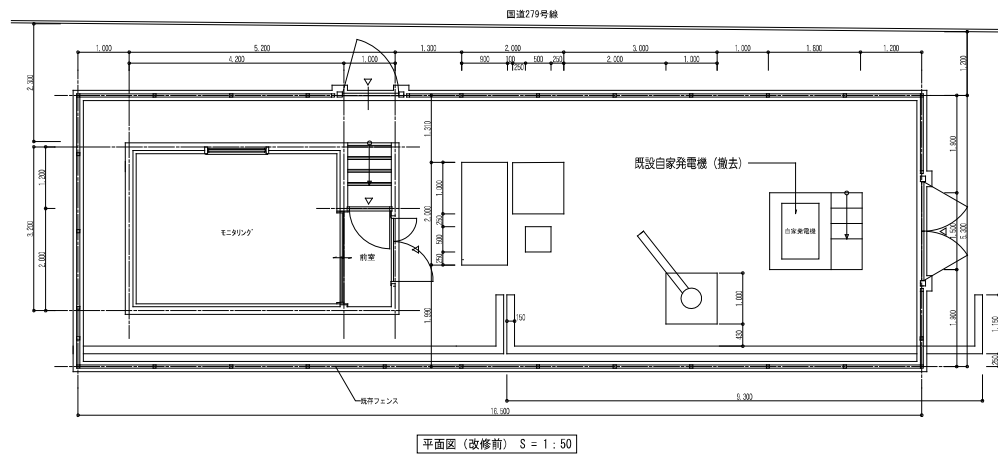
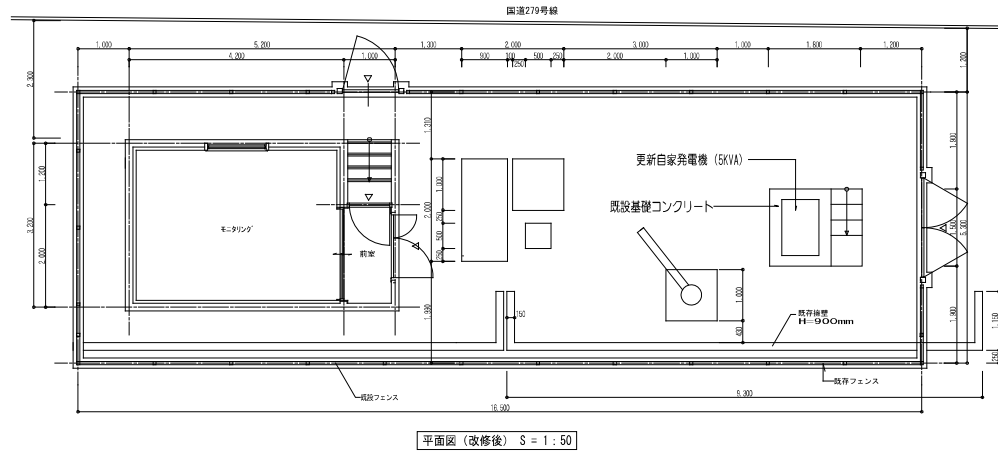
3. 新設発電装置の電源ケーブル・警報ケーブルの新設。

4. 一部既存フェンス及び基礎の撤去及び新設。

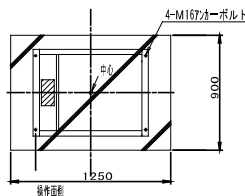
5. 消火器移設及び新設。

※ 引渡し時はタンクを満タンとすること。





1 / 37

[illegible]

エンジン兼発電機		発電機	
エンジン		発電機	
形 式	4サイクル直列水冷式	容 積	50(A・L)R
燃焼室構造	渦流室式	電 圧	100V
給 油 方 式	機械給油式	電 流	50A
注 油 方 式	ラジエーター式	起 動 機	10馬力型(過負荷10%50分)
シリンダー数	2	回転数	1500
空冷方式	2流	周 速	157
回転速度	3000rpm ⁻¹	回転 数	50Hz
起 動 方 式	セルモーター	起 動 電 流	2000mA
配 電 方 式	自動配電方式	力 率	0.8(遅相)
電 流 値	1.5(A)50Hz電圧降下率<1%	燃料消費率	180g/kWh
燃 油 消費 量	1.5(L/5.444kWh)燃費効率80%	燃 油 消費 率	70g/kWh
燃 油 消費 率	約70%	燃 油 消費 率	57.1g/kWh

[illegible]

記号	名 前	記号	名 前	記号	名 前
A C G	車台 共済会電機	F	ヒューズ	516	サーマルリレー
E X G	無線計測電機	M 201	主制御用遮断器	27	電圧検出器
A V R	自動電圧調整器	M 282	充電電力用遮断器	500	電圧切替用電機接触器 (兼作機)
A	交流電圧計	M 364	充電電力用電圧計	810	電圧切替用電機接触器 (充電機用)
V	交流電圧計	M 383	ヒーター用遮断器		
V	交流電圧計	OC 2	柱状電圧計		


 株式会社 青 建 設 計
 SEIKEN SEKKEI ARCHITECTS OFFICE

一級建築士事務所登録 青森県第151号
〒033-0037
青森県三沢市松園町3丁目7-18
TEL 0176(53)3881 FAX 0176(52)4356

管理建築士 建設大臣登録番号 一級建築士
設計者 第89513号 相場 博

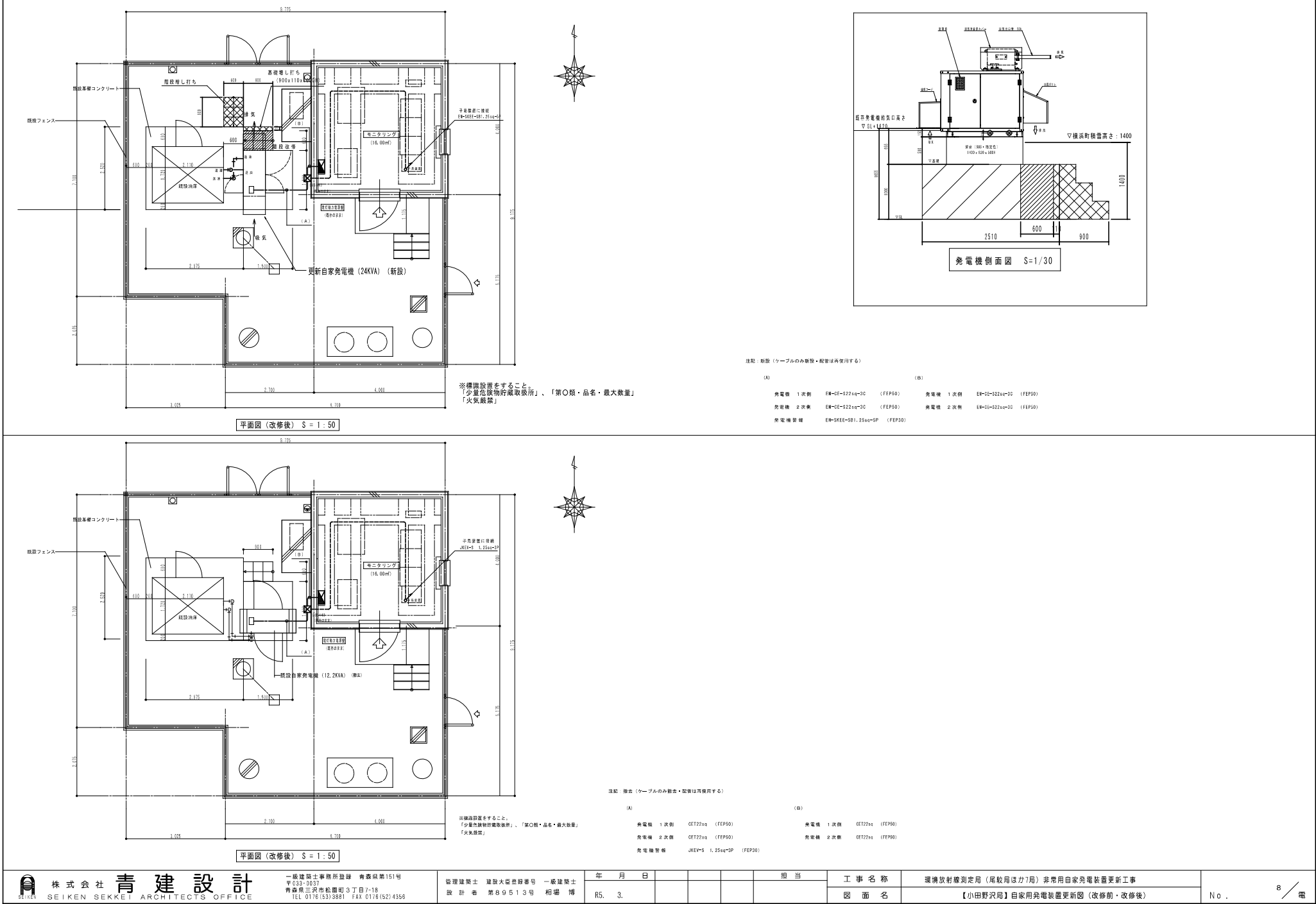
年	月	日
R4.	1.	

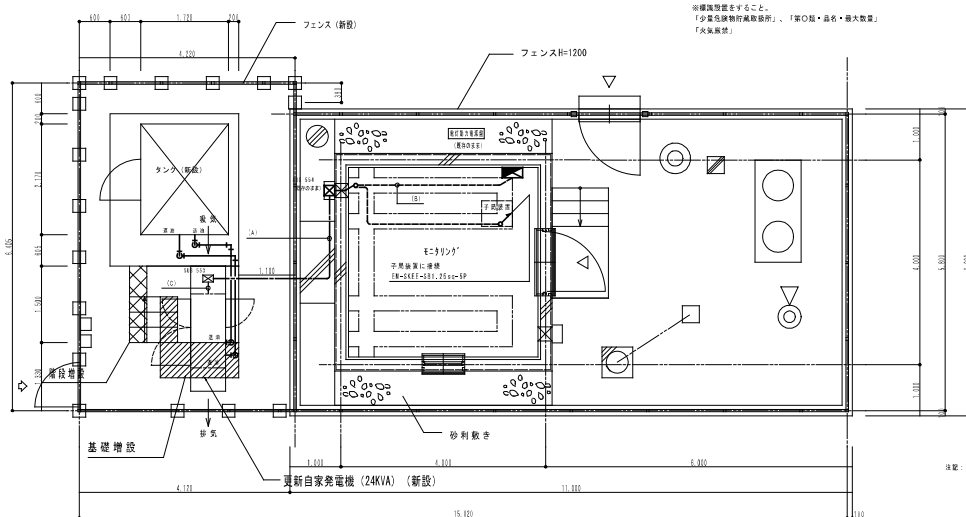
工事名称

環境放射線測定局（尾較局ほか7局）非常用自家発電装置更新工事

No.

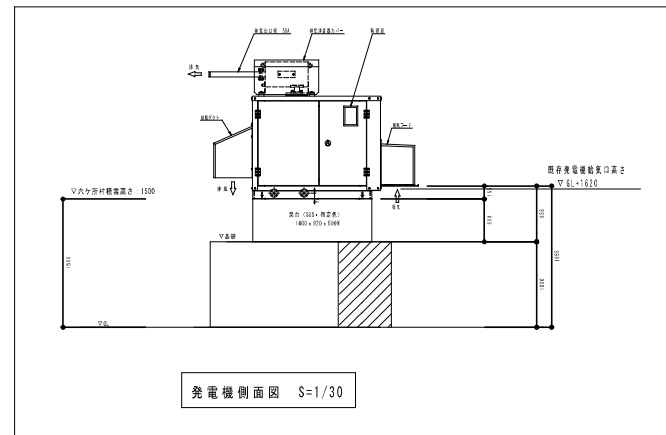
3/





※補強設置をすること。
「少量危険物貯蔵取扱所」、「第○類・品名・最大数量」
「火気厳禁」

平面図 (改修後) S = 1 : 50



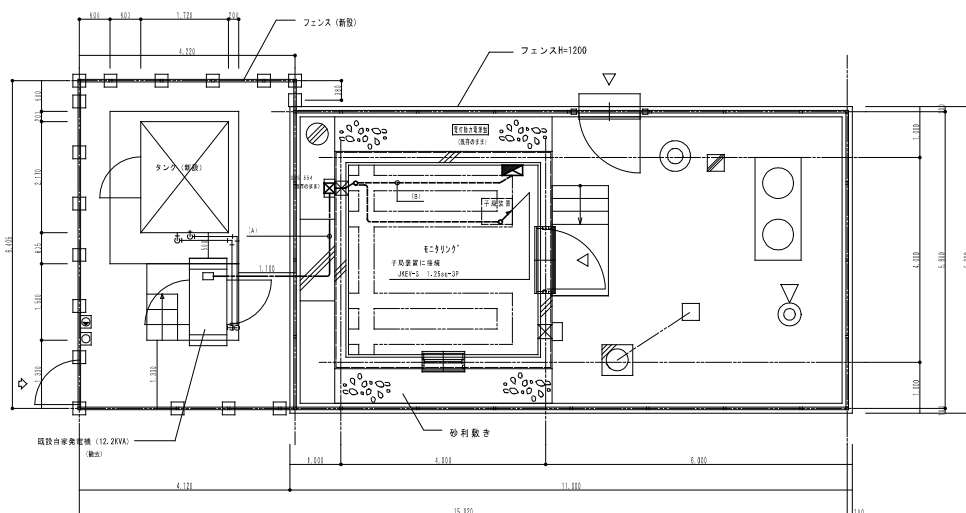
発電機側面図 S=1/30

注記：１）ケーブルのみ敷設（既設配管再使用）下記（Ａ）及び（Ｂ）
２）設置確認及びケーブル敷設 下記（Ｃ）

(A)	発電機 1次側	EP-DE-5224a-3C (FEP50)
	発電機 2次側	EP-DE-5224a-3C (FEP50)
	発電機制御	EP-DE-511-254a-3P (FEP30)
(B)	発電機 1次側	EP-DE-5224a-3C (FEP50)
	発電機 2次側	EP-DE-5224a-3C (FEP50)
	発電機制御	EP-DE-511-254a-3P (FEP30)
(C)	発電機 1次側	EP-DE-5224a-3C (Z054)
	発電機 2次側	EP-DE-5224a-3C (Z054)
	発電機制御	EP-DE-511-254a-3P (Z030)

<配管量>

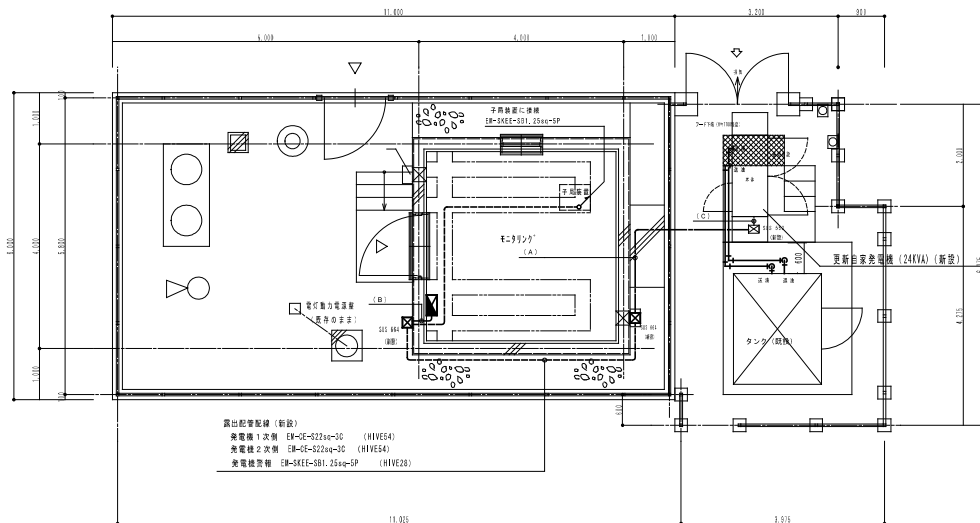
図 号	名 称	仕 様	備 考
☑ SUS 553	フルボックス	SUS 550×500×100 (脚)	



平面図 (改修前) S = 1 : 50

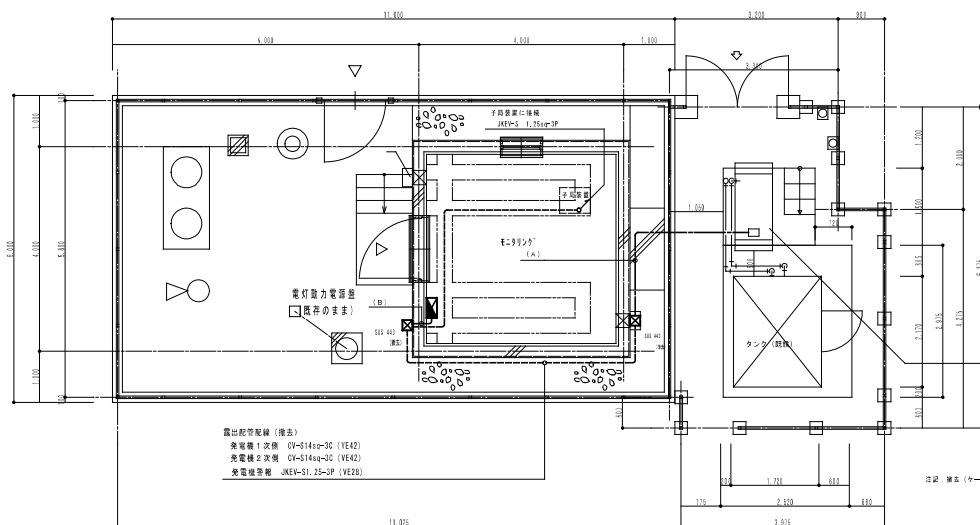
注記：撤去（ケーブルのみ撤去・配管は再使用する）

(A)	発電機 1次側	CV-S14a-3C (FEP50)
	発電機 2次側	CV-S14a-3C (FEP50)
	発電機制御	JKEV-S 1.254a-3P (FEP30)
(B)	発電機 1次側	CV-S14a-3C (ビット配線)
	発電機 2次側	CV-S14a-3C (ビット配線)

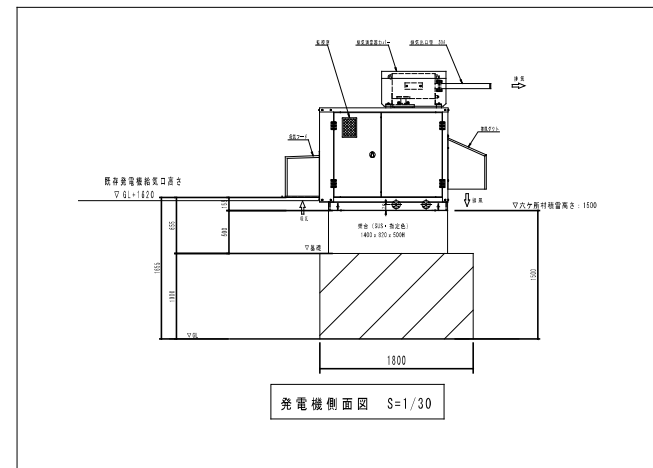


平面図 (改修後) S = 1/50

※標準設置をすること
「少量危険物貯蔵取扱所」、「第○類・品名・最大数量」
「火気厳禁」



平面図 (改修前) S = 1/50



発電機側面図 S=1/30

注記：1) ケーブルのみ設置 (施設標準仕様使用) 下敷 (A) 及び (B)
2) 新築設置及びケーブル経路 下敷 (C)

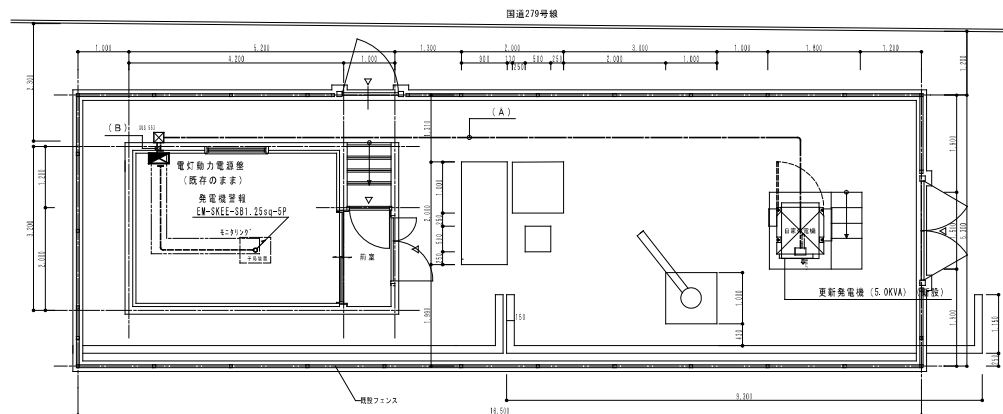
(A)		(B)		(C)	
発電機 1次側	EM-DE-5274a-3C (FEF50)	発電機 1次側	EM-DE-5274a-3C (FEF50)	発電機 1次側	EM-DE-5274a-3C (Z654)
発電機 2次側	EM-DE-5224a-3C (FEF50)	発電機 2次側	EM-DE-5224a-3C (FEF50)	発電機 2次側	EM-DE-5224a-3C (Z654)
発電機管理	EM-SKEE-SB1.254a-SP (FEF30)			発電機管理	EM-SKEE-SB1.254a-SP (Z028)

<標準書>

記号	名称	仕様	備考
☑ S15 S55	フルボックス	205 500×500×300 (3P)	
☑ S55 864	フルボックス	385 600×600×400 (3P)	

注記：断面 (ケーブルのみ設置・設置は実機参照)

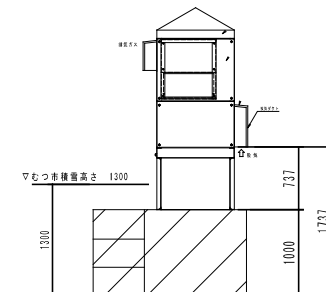
(A)		(B)	
発電機 1次側	CV-S144a-3C (FEF50)	発電機 1次側	CV-S144a-3C (FEF50)
発電機 2次側	CV-S144a-3C (FEF50)	発電機 2次側	CV-S144a-3C (FEF50)
発電機管理	JEK1-S1.254a-SP (FEF30)		



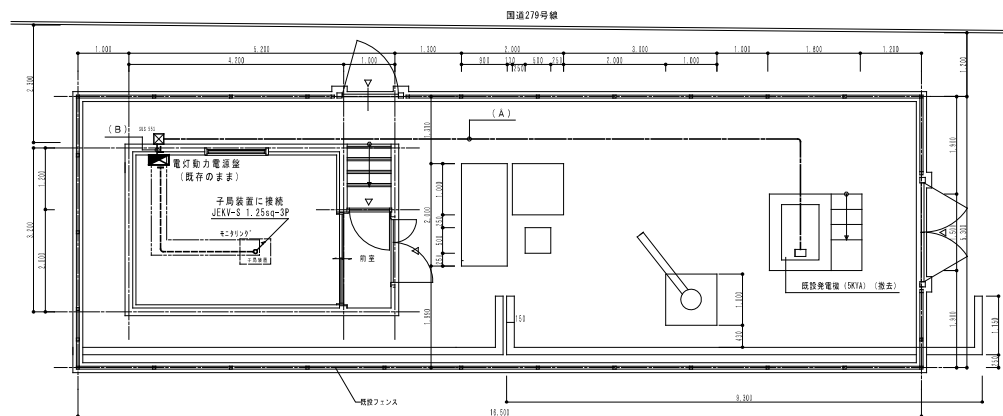
平面図 (改修後) S = 1 : 50

注記：新設 (ケーブルのみ新設・配管は再使用する)

- | | | |
|-----|------------------------------------|--------------------------------|
| (A) | 発電機 1次側 EM-GE-S14sq-2C (FEP50) | 発電機 1次側 EM-GE-S14sq-2C (FEP50) |
| | 発電機 2次側 EM-GE-S14sq-2C (FEP50) | 発電機 2次側 EM-GE-S14sq-2C (FEP50) |
| | 発電機 監視 EM-SKEE-S81.25sq-5P (FEP40) | |



発電機側面図 S=1/30



平面図 (改修前) S = 1 : 50

注記：撤去 (ケーブルのみ撤去・配管は再使用する)

- | | | |
|-----|--------------------------------|---------------------------|
| (A) | 発電機 1次側 CV14sq-2C (FEP50) | 発電機 1次側 CV14sq-2C (FEP50) |
| | 発電機 2次側 CV14sq-2C (FEP50) | 発電機 2次側 CV14sq-2C (FEP50) |
| | 発電機 監視 JKEV-S 1.25sq-3P (FE40) | |